



## 平成26年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月14日  
上場取引所 東

上場会社名 千代田インテグレ株式会社  
コード番号 6915 URL <http://www.chiyoda-i.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 光明  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 村田 功 TEL 03-3542-3412  
四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年8月期第1四半期の連結業績（平成25年9月1日～平成25年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第1四半期	12,625	41.6	1,229	156.3	1,362	126.3	564	37.9
25年8月期第1四半期	8,917	11.7	479	23.3	602	5.3	409	-

(注) 包括利益 26年8月期第1四半期 581百万円 (53.6%) 25年8月期第1四半期 378百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第1四半期	41.77	-
25年8月期第1四半期	30.29	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第1四半期	40,870	26,198	64.1
25年8月期	38,058	26,023	68.4

(参考) 自己資本 26年8月期第1四半期 26,198百万円 25年8月期 26,023百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	-	0.00	-	30.00	30.00
26年8月期	-	-	-	-	-
26年8月期(予想)	-	0.00	-	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成26年8月期の連結業績予想（平成25年9月1日～平成26年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	26.3	2,200	132.5	2,400	74.7	1,300	14.6	96.17
通期	44,000	8.8	3,600	49.8	3,900	34.7	2,300	11.2	170.16

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 - 社（社名） - 、 除外 - 社（社名） -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
（注）詳細は、添付資料P2.「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年8月期1Q	14,128,929株	25年8月期	14,128,929株
期末自己株式数	26年8月期1Q	612,002株	25年8月期	611,882株
期中平均株式数（四半期累計）	26年8月期1Q	13,517,012株	25年8月期1Q	13,517,132株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は完了しております。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成25年10月10日に公表致しました連結業績予想について本資料において修正しております。詳細は、本日付の「平成26年8月期第2四半期連結累計期間および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2.「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、一時、米国の債務上限問題による金融市場の混乱があったものの、中国経済の成長率が小幅に改善し、欧州経済が停滞から持ち直す傾向にある中、米国経済も底堅く、全体として緩やかな回復となりました。しかしながら、依然として欧米諸国の財政問題や米国の金融緩和縮小、中国経済の減速懸念などの下振れリスクは払拭されておりません。

一方、我が国経済におきましては、消費者マインド改善の一服感やアジア向け輸出の低迷によって成長率が鈍化したものの、消費税増税前の駆け込み需要を背景にした住宅投資などの下支えがあり、プラス成長を維持しました。また、当社の属するエレクトロニクス業界は、円安効果によって企業業績が改善されたとはいえ、携帯端末等一部の製品を除き、需要の先行きには未だ不透明感があります。

このような状況の中で当社グループは、基本方針である「事業領域の拡大と収益力の改善」のもと、外資系企業との取引拡大や新商材の拡販を積極的に進めるとともに、需要に柔軟に対応できる生産体制を構築してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は12,625百万円（前年同四半期比41.6%増）、営業利益は1,229百万円（前年同四半期比156.3%増）、経常利益は1,362百万円（前年同四半期比126.3%増）、四半期純利益は564百万円（前年同四半期比37.9%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

日本は、引き続き新しい分野への活動を進めながらも、収益性の向上に取り組み、売上高は2,882百万円（前年同四半期比7.1%減）、営業利益は40百万円（前年同四半期は66百万円の営業損失）となりました。

東南アジアは、A/V機器・スマートフォン向けで苦戦したものの、自動車向けが下支えし、売上高は2,308百万円（前年同四半期比9.2%増）、営業利益は81百万円（前年同四半期比15.5%増）となりました。

中国は、スマートフォン向けの受注が好調を維持し、売上高は7,005百万円（前年同四半期比115.7%増）、営業利益は794百万円（前年同四半期比276.6%増）となりました。

その他の売上高は429百万円（前年同四半期比5.0%減）、営業利益は48百万円（前年同四半期比25.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,811百万円増加し、40,870百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加2,146百万円であります。負債は、前連結会計年度末に比べ2,636百万円増加し、14,671百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加1,377百万円であります。純資産は、前連結会計年度末に比べ175百万円増加し、26,198百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加159百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、現時点における経営環境などを勘案し、平成25年10月10日に公表いたしました平成26年8月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成26年1月14日（本日）に別途開示いたしました「平成26年8月期第2四半期連結累計期間および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであります。

なお、為替レートにつきましては、1米ドル=100円で業績予想を算出しております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、重要な子会社の異動はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### （税金費用の計算）

税金費用については、当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,721	9,693
受取手形及び売掛金	10,981	13,127
有価証券	49	551
商品及び製品	1,683	1,636
仕掛品	385	416
原材料及び貯蔵品	2,639	2,883
繰延税金資産	227	234
その他	399	350
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	26,087	28,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,859	9,813
減価償却累計額	6,424	6,469
建物及び構築物(純額)	3,435	3,344
機械装置及び運搬具	8,583	8,503
減価償却累計額	5,698	5,647
機械装置及び運搬具(純額)	2,885	2,855
工具、器具及び備品	1,839	1,859
減価償却累計額	1,473	1,491
工具、器具及び備品(純額)	365	367
土地	1,612	1,609
建設仮勘定	102	69
有形固定資産合計	8,400	8,246
無形固定資産		
ソフトウェア	327	285
ソフトウェア仮勘定	9	22
電話加入権	13	12
無形固定資産合計	350	320
投資その他の資産		
投資有価証券	2,416	2,665
繰延税金資産	72	72
その他	768	705
貸倒引当金	37	34
投資その他の資産合計	3,220	3,409
固定資産合計	11,971	11,976
資産合計	38,058	40,870

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,179	8,556
短期借入金	1,639	2,192
1年内返済予定の長期借入金	24	24
未払法人税等	409	422
賞与引当金	244	165
その他	1,118	1,811
流動負債合計	10,616	13,173
固定負債		
長期借入金	75	69
繰延税金負債	258	332
退職給付引当金	809	834
その他	275	262
固定負債合計	1,418	1,498
負債合計	12,035	14,671
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,331	2,331
資本剰余金	2,450	2,450
利益剰余金	21,792	21,951
自己株式	848	848
株主資本合計	25,725	25,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	390	548
為替換算調整勘定	92	234
その他の包括利益累計額合計	297	314
純資産合計	26,023	26,198
負債純資産合計	38,058	40,870

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
売上高	8,917	12,625
売上原価	7,017	9,887
売上総利益	1,899	2,738
販売費及び一般管理費	1,419	1,508
営業利益	479	1,229
営業外収益		
受取利息	13	17
為替差益	137	118
その他	28	34
営業外収益合計	178	169
営業外費用		
支払利息	6	19
その他	49	17
営業外費用合計	56	36
経常利益	602	1,362
特別利益		
固定資産売却益	17	4
特別利益合計	17	4
特別損失		
固定資産除売却損	1	2
投資有価証券評価損	61	-
特別退職金	10	55
関係会社整理損	-	334
特別損失合計	73	392
税金等調整前四半期純利益	545	974
法人税等	136	409
少数株主損益調整前四半期純利益	409	564
四半期純利益	409	564

( 四半期連結包括利益計算書  
( 第 1 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 1 四半期連結累計期間 ( 自 平成 24 年 9 月 1 日 至 平成 24 年 11 月 30 日 )	当第 1 四半期連結累計期間 ( 自 平成 25 年 9 月 1 日 至 平成 25 年 11 月 30 日 )
少数株主損益調整前四半期純利益	409	564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	158
為替換算調整勘定	100	141
その他の包括利益合計	30	16
四半期包括利益	378	581
( 内訳 )		
親会社株主に係る四半期包括利益	378	581
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	3,103	2,113	3,248	8,465	452	8,917	-	8,917
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	661	19	204	885	0	885	885	-
計	3,764	2,132	3,453	9,350	452	9,803	885	8,917
セグメント利益 又はセグメント損失( )	66	70	211	215	64	280	199	479

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失( )の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	2,882	2,308	7,005	12,196	429	12,625	-	12,625
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	863	54	205	1,123	0	1,123	1,123	-
計	3,745	2,363	7,210	13,319	429	13,749	1,123	12,625
セグメント利益	40	81	794	916	48	965	263	1,229

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第1四半期連結会計期間において区分表示しておりました「北米」セグメントは、報告セグメントにおける重要性が低下したため、当第1四半期連結会計期間では、「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。